

痔疾患について

痔の悩みをかかえている患者さんは、成人の半数以上にいらっしゃるといわれています。一般に痔といってもその種類によって症状・治療法が異なり、疾患に応じた対処が必要となります。

内痔核とは？

一般にイボ痔と呼ばれ、痔疾患の約半数をしめます。肛門周囲の静脈のうっ血により肛門内が腫れる病気です。主な原因としては、便秘(長時間いきんで排便したり)や下痢などの便通異常が考えられます。そのほか運転やデスクワークなどの長時間座りっぱなしの姿勢や妊娠・出産などが肛門に負担となり発生します。主な症状は排便時の出血(鮮やかな血の色で、紙につく程度のものからほとばしり出るようなものまで様々)で時に痛みを伴います。少し時間はかかりますが、通常は座薬で治療します。肛門内で腫れた痔は進行するにつれ排便の際に肛門の外に脱出し始め、更には自分の手で肛門内に押し込まないと戻らない脱肛になります。脱肛になったり、出血の多い内痔核には手術が必要です。腰椎麻酔下に約1時間の手術、約10日間の入院がかかります。



外痔核とは？

これも一般にイボ痔と言われ内痔核と同様静脈のうっ血で発生し、肛門の外側に血豆様の腫れ物が急に出来る病気です。原因は内痔核と同様です。出血よりも痛みを主症状とし、座薬で治療します。

裂肛(れっこう)とは？

排便の際、硬い便を無理に排泄する時に肛門の一部が切れる病気で一般に切れ痔と呼ばれます。症状は硬い便の排便時・排便後の出血・激痛です。急性と慢性とがあり、急性の裂肛は浅く座薬で治りやすいのですが、炎症を伴い慢性化すると潰瘍となり治りにくくなり手術が必要となることがあります。

痔瘻(じろう)・肛門周囲膿瘍とは？

肛門内から細菌が入り肛門周囲が腫れ・膿がたまったものを肛門周囲膿瘍といいます。肛門が腫れ発熱・強い痛みを伴い、進行すると肛門内または肛門周囲から膿が出ます。基本的に切開が必要で、放置していると周囲に膿が広がります。切開して膿を出すだけで治ることがありますが、多くは皮膚と肛門内とに交通のある管が形成され痔瘻となり、再発を繰り返しなかなか治らないことがあります。痔瘻の治療は手術が必要で、腰椎麻酔下に通常約1時間、術後2週間前後の入院が必要です。しかし、瘻孔の形や数などから複雑痔瘻といわれる状態に至ると治るのに相当時間がかかります。

すべての痔疾患に共通する主な原因は排便異常(特に便秘で、便が硬かったり、長時間便器に座っていることが原因)ですので、いくら薬を使っても、排便異常を改善しなかったり、5分以上便器に座る習慣が直せない方は、治らないことがありますので注意してください。また、長時間座ったりすることを避け、お尻を冷やさないことや清潔にする事も大切です。

排便時出血の原因には痔疾患以外に大腸のポリープや癌の場合もありますので、自己診断しないで、おしりを見せる恥ずかしさや病気に対する不安で一人で悩んでいっしょらないで、専門医(外科)を受診してみてください(女性医師による診察も可能です)。



痔の治療と予防



以下の8原則を守りご自分のお尻をいたわってあげてください

便秘・下痢に注意

トイレで強くいきまない

毎日お風呂に入る

おしりを清潔に保つ

おしりを冷やさない

座りっぱなしはよくない

酒・コショウ・からしなどの刺激物は避け、食物繊維の多い食べ物を多くとる

間違った自己診断・治療は禁物

国立病院機構 奈良医療センター 外科